

鉄道博物館

THE RAILWAY MUSEUM



団体利用のご案内

2026年2月版

公益財団法人 東日本鉄道文化財団

鉄道博物館

目 次

鉄道博物館のご紹介

はじめに	2
鉄道博物館のコンセプト	3
アクセス・ご利用案内	4
各ステーション紹介	6

学校向け学習利用案内

ラーニングプログラムのねらい	9
ラーニングプログラム	10
鉄道ジオラマ	12
運転士体験教室	12
昼食場所利用	13
学校利用タイムスケジュール例	13

申込のご案内

団体予約について	16
鉄道博物館ご利用Q & A	18

※この「団体利用のご案内」は、2026年2月現在の情報をもとに編集しています。

はじめに

「鉄道博物館」は、ＪＲ東日本創立 20 周年事業のメインプロジェクトとして、地元さいたま市の皆様のご理解とご協力をいただきながら、2007（平成 19）年 10 月 14 日、埼玉県さいたま市に開館致しました。

日本における鉄道の役割、鉄道技術の変遷、社会への影響などを学べるよう、多くの実物資料を当時の情景を再現しながら展示するとともに、生徒たちが体験を通じて鉄道の原理・しくみを学び、楽しむことの手助けを行っております。また、調査・研究の拠点として、日本及び世界の鉄道に関わる遺産・資料に加え、国鉄改革やＪＲ東日本に関する資料を体系的に保存します。そして、世界中の人が集い、鉄道について理解を深め、未来の夢を楽しく語り合う、そんな「発見と創造」の場にしたいと願っております。

2018（平成 30）年 7 月 5 日には新館がオープンし、本館のリニューアルも完成しました。今後、地域の皆様に愛され、世界から注目される、ハード・ソフトとも世界でトップクラスの「鉄道博物館」を目指して、努力を続けてまいります。

鉄道博物館



鉄道博物館のコンセプト

歴史博物館

実物展示を柱に、時代背景を交えながら、鉄道の歴史を語ります。



鉄道博物館

鉄道に関わる遺産・資料を体系的に保存し、調査研究を行います。



教育博物館

鉄道の原理・しくみや最新技術について体験的に学習することができます。



近代社会発展の大きなけん引力となってきた鉄道を

体験

することができます

実感

することができます

知る

ことができます

【ポイント】

- ・ 実物車両などの展示を見て、それに触れることができます。
- ・ 列車が走った当時の情景を再現した展示で時代を感じることができます。
- ・ 実物、模型、シミュレータなどで楽しく学ぶことができます。
- ・ 鉄道の歴史から技術まで、さまざまなことを知ることができます。
- ・ 鉄道運行に関わる業務を疑似体験できます。

アクセス・ご利用案内

所在地

埼玉県さいたま市大宮区大成町3丁目47番
(JR大宮駅よりニューシャトル「鉄道博物館」駅下車徒歩1分)

開館時間

10:00 ~ 17:00 (ご入館は16:30まで)

休館日

毎週火曜日及び年末年始
※火曜日が祝日の場合は開館いたします。
※春休み・夏休みなど学校の長期休み期間中の火曜日は、開館する場合があります。
詳しくは当館ホームページの開館カレンダーをご覧ください。

料金(税込)

【入館料】

	個人	団体	障害者割引
一般	1,600円	1,200円	800円
小中高生	600円	400円	300円
幼児(3歳以上未就学児)	300円	160円	150円

※有料入館者20名さま以上を団体とさせていただきます。

※学校団体(保育園、幼稚園、小・中・高校、大学、各種専門学校)が、学校教育の一環として当館をご利用いただく場合は、有料入館者が20名に満たなくても団体料金の扱いを適用いたします。

※学校教育利用の引率教職員、旅行会社の添乗員及びガイド、バス運転士は無料です。

※障害者割引は、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳(愛の手帳、緑の手帳)、被爆者健康手帳、戦傷病者手帳、障害福祉サービス利用のための各種受給者証をお持ちのご本人および介護者1名まで入館料金が割引となります。

「ミライロID(スマートフォン用障害者手帳アプリ)」のホーム画面のご提示でも適用の対象となります。

【体験展示等料金】

体験展示名	料金	団体予約	備考
ミニ運転列車	1回600円	不可	「てっぱく抽選アプリ」による抽選制(要入館)。運転は小学生以上。1台3名まで乗車可。
D51 シミュレータ	1回600円	不可	「てっぱく抽選アプリ」による抽選制(要入館)。対象は中学生以上。
E5 シミュレータ	1回600円	不可	「てっぱく抽選アプリ」による抽選制(要入館)。対象は小学生以上。
車掌シミュレータ	1回600円	不可	「てっぱく抽選アプリ」による抽選制(要入館) 対象は小学生以上。
E233、205、211、E235 シミュレータ	無料	不可	抽選なし(先着順)で体験可。 年齢制限なし

【体験展示等料金】

体験展示名	料金	団体 予約	備考
鉄道ジオラマ (解説プログラム)	無料	可	団体でのご予約が取れなかった場合でも一般のお客さまとともに観覧可。入替制。
運転士体験教室	1回 600円	可	団体でのご予約が取れなかった場合でも、当日実施の回に参加可。「てっぱく抽選アプリ」で抽選制(要入館)。対象は小学生以上。※小学1年生～4年生は保護者の付き添いが必要です。
ミニはやぶさ号	1回 200円	不可	抽選なし(先着順)で体験可。未就学児は1名につき保護者1名の付き添いが必要です。冬季・雨天時は運休。

【駐車場料金】

バス：1台1日1回 2,040円(約20台収容可能)

乗用車：1台1日1回 1,000円(約280台収容可能)

交通案内図

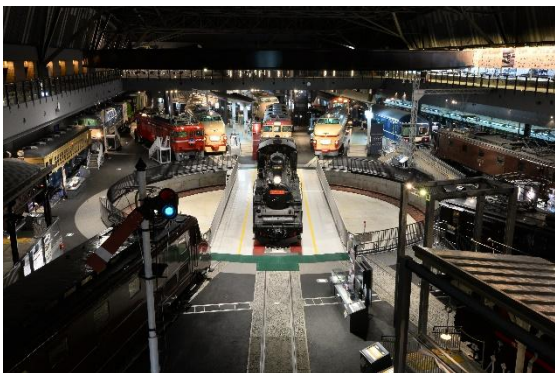


各ステーション紹介

鉄道博物館は本館・北館・南館の3つの建物に分けられ、主な常設展示は本館・南館に展開されています。常設展示は、テーマごとに車両・科学・仕事・未来・歴史の5つの「ステーション」に分かれており、日本の鉄道の歴史と進化をさまざまな視野から、わかりやすく紹介します。

車両ステーション（本館1F/2F）

時代が生んだ車両たちの記憶を辿り、技術の粋を集めいきいきと躍動する当時の姿を肌で感じる「体感型ミュージアム」



広大な空間の中に36両の実物車両が集結する車両ステーションは、車両の迫力を間近で体感できます。それぞれの車両の特徴や技術、時代背景などを実物の車両を通して紹介するほか、中央の転車台の回転実演や、大型スクリーンでの映像上映などで展示車両が活躍していた頃の躍動感あふれる姿を伝えます。2Fの鉄道車両年表では約80両の大型鉄道車両模型とともに、日本の鉄道車両技術の発達を紹介しています。

科学ステーション（本館2F/3F）

鉄道に隠された不思議を発見し、科学の視点で探求することで鉄道のしくみを理解する「実験型ミュージアム」



鉄道が走るために必要な「レールと車輪」「電気と閉そく」をテーマに、鉄道の科学と身近な生活の中の科学をつなぎます。実験装置を使って実際に体験することで、さまざまな科学の原理を楽しみながら学ぶことができます。

仕事ステーション（南館 1 F / 2 F） ※南館内の移動はエスカレーター・エレベーターをご利用下さい
現在の鉄道をテーマとし、鉄道を支える仕事に挑戦して、プロフェッショナルになりきる
「体験型ミュージアム」



現在の鉄道を支える、運転士や車掌、指令員、駅係員、車両設計、保線、土木などさまざまな仕事をご紹介します。シミュレータや体験プログラムにより仕事を疑似体験することで、安全・安定輸送のため24時間休むことなく動き続ける鉄道システムを理解することができます。

未来ステーション（南館 2 F）

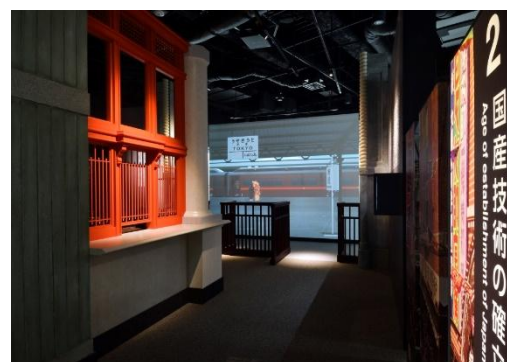
未来の鉄道をテーマとし、未来の駅や鉄道に入り込み、これからの鉄道の姿をみんなで考える
「創造型ミュージアム」



現在研究・開発が進められている鉄道の技術に触れ、自分の分身（アバター）と共に、未来の社会を探訪し、未来の社会と鉄道はどう変わっていくのかを創造する参加型展示です。

歴史ステーション（南館 3 F）

過去の鉄道をテーマとし、歴史の中にタイムスリップし、時代が求めた鉄道の姿やそれを支えた人々の熱意を解き明かす「発見型ミュージアム」



日本の鉄道の歴史を、技術と社会の2つの面から辿ります。展示室内は時代ごとに6つのエリアに分かれ、技術展示では、それぞれの時代の鉄道システムを実物資料や記録映像で紹介しています。社会展示では当時の駅の情景を中心に、人々の生活の様子と鉄道との関わりを紹介しています。

学校向け学習利用案内

（学校教育利用の小学校団体専用）ラーニングプログラムのねらい

鉄道の原理・しくみを解説する展示装置や、実際の車両を使い、学校教育と連携した内容を体験的に学習することができます。

- スタッフが展示装置や鉄道を題材とした小道具を使い、生徒たちの興味を喚起しながら誘導します。生徒たちは、鉄道のシステムが実は授業で学んだ科学の原理が応用されたものであることに気づきます。
- 車両ステーションの実物の電車や客車内で、その車両が使われていた当時の様子を疑似体験することを通じて、車両の違いや人々の生活の違いに気づきます。
- プログラム内容や組み合わせなどに関しては、さいたま市教育委員会と連携しながら検討、作成しました。

※ラーニングプログラムのご予約は、ご利用日の前月 10 日までとさせていただきます。

ラーニングプログラム

※1プログラム約20分

1. 「どうやって電車は動くの？」

対象学年と教科：小学校3年生理科

使用する展示アイテムとフロア：「実物のパンタグラフ」（科学ステーション3F）

回路が閉じると電球が光る、モーターが回るという理科で学ぶ電気回路について振り返りながら、実社会における鉄道でも、架線・車両・線路が回路を構成して電車のモーターが回っていることを知ります。

2. 「熱でレールが伸び縮みする」

対象学年と教科：小学校4年生理科

使用する展示アイテムとフロア：「EF58形式89号機電気機関車前のレールの継ぎ目」
(車両ステーション1F中央 転車台横の車両)

理科で学ぶ「もののかさと温度」を、実社会の中の鉄道を教材にして、総合的に学ぶことを目的とします。身の回りのものは、温度によって変化しています。鉄も熱によってかさの変化が起きます。鉄道でも熱によってさまざまな変化が起き、それに対応するしくみや熱を生かす工夫を行っていることを知ります。

3. 「熱が力を生み出す」

対象学年と教科：小学校4年生理科

使用する展示車両とフロア：「9850形マレー式蒸気機関車」（車両ステーション1F）

理科で学んだ「空気と水のふしぎ」を実社会において応用した鉄道の動力をとりあげます。普段、なにげなく湯を沸かして出る蒸気を利用したのが蒸気機関であると気づくことにより、鉄道の動力を生み出すしくみを知ります。

4. 「どうやって信号機の色は変わるの？」

対象学年と教科：小学校5年生理科

使用する展示アイテムとフロア：「閉そくコースター」（科学ステーション3F）

理科で学ぶ電磁石の性質について振りかえりながら、鉄道でも、電磁石をスイッチに応用し、レールと車輪・車軸が回路を構成し信号表示を変えていることを知ります。

5. 「鉄道の車両は、何をはいている？」

対象学年と教科：小学校5年生理科

使用する展示アイテムとフロア：「摩擦トロッコ」（科学ステーション2F）

3種類の運搬具を使った重いものを移動する体験や、身近なおもちゃ遊びを通して、転がりやすい形に気づき、すべりやすい面やすべりにくい面を発見し、実生活の鉄道との関わりについて知ることができます。

6. 「電気で動く、電気で止まる」

対象学年と教科：小学校5・6年生理科

使用する展示アイテムとフロア：「電気の実験テーブル」（科学ステーション3F）

モーターに電気を流すと軸が回転し、モーターの軸を回転させると発電機になります。鉄道ではモーターを発電機としたときの抵抗力をブレーキに応用していることを知ります。

7. 「車輪のヒミツ」

対象学年と教科：小学校5年生算数

使用する展示アイテムとフロア：「車輪のヒミツ」（科学ステーション2F）

鉄道車両の左右の車輪は車軸に固定されているので、左右とも同じ回転で転がります。この車輪でどのようにしてカーブをうまく曲がれるのか、模型の車輪がカーブを転がる様子を観察して車輪の形に秘密があることを知ります。

8. 「鉄道におけるリサイクル」

対象学年と教科：小学校1～6年生生活科・総合

使用する展示車両とフロア：「クモハ101形電車」（車両ステーション1F）

学校教育の「生活科」や「総合的な学習の時間」と連携するプログラムです。JR東日本では環境保全活動のひとつとして、駅や車両センター等におけるリサイクル率の目標を掲げ、活動しています。この活動のうち、駅の分別ゴミ箱の設置や回収されたゴミのリサイクル活動、総合車両センターの廃棄物分別と再生利用についてプログラムとして展開し、生活に身近な鉄道から、環境保全活動に取り組んでいることを知ります。

9. 「長いきよりはしる列車の旅くらべ」

対象学年と教科：小学校3年生社会科

使用する展示車両とフロア：「オハ31形客車とナハネフ22形客車」（車両ステーション1F）

おじいさんやおばあさんが生まれる前、90年くらい前の旅の様子と、お父さんやお母さんが生まれる前、50年くらい前の旅の様子を、車両ステーション1Fに展示された車両で体験し、所要時間やイスの座り心地、空調の有無など、長距離旅行の違いについて知ります。

10. 「鉄道とくらしー特急電車くらべ」

対象学年と教科：小学校3年生社会科

使用する展示車両とフロア：「222形式新幹線電車とクハ181形式電車」（車両ステーション1F）

15年くらい前の新幹線「とき」と、お父さんやお母さんが生まれたころ、45年くらい前の電車特急「とき」の実物車両に乗って、車内放送や車内販売の実演を体験します。車両そのものや、車内放送、車内販売を比較して、違いに気づいてもらうのがねらいです。

11. 「通きん電車くらべ」

対象学年と教科：小学校3年生社会科

使用する展示車両とフロア：「クモハ40形電車とクモハ101形電車」（車両ステーション1F）

おじいさんやおばあさんが生まれる前、80年くらい前の通勤電車内と、お父さんお母さんが生まれる前、50年くらい前の通勤電車内で、それぞれの時代の通勤の様子を体験し、それらの違いに気づいてもらうのがねらいです。

鉄道ジオラマ

さまざまな鉄道シーンを再現した広大なジオラマの中を、H〇ゲージの模型車両が迫力いっぱい駆けめぐります。スタッフによるナレーション付きの解説プログラムをご覧ください。

定員は200名(※他の団体・一般のお客さまと一緒にご覧いただくことができます)で、所要時間は約10～15分間、団体でご予約できるのは、10:30、12:10、14:00、16:00開始の回です。



運転士体験教室

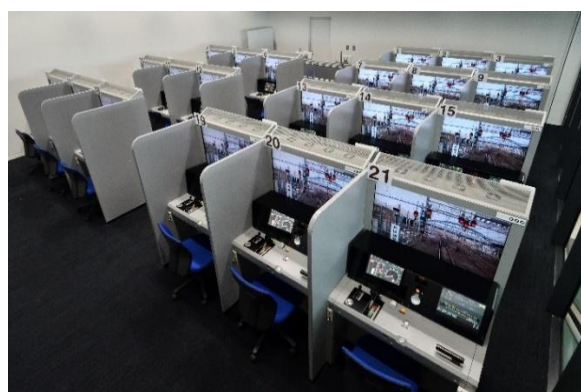
教室には電車運転シミュレータと、それを制御する講師卓1台を設置しています。参加する生徒は同じシナリオで一斉に運転体験を開始、講師役スタッフの解説とともに体験プログラムが進行します。初級、中級、上級の3コースがあり、電車運転の基本から、安全にかつ定時運行しながらいかに乗り心地良く電車を運転するかまでを学ぶことができます。

団体予約では初級コースを体験していただきます。子どもたちがあこがれる電車の運転士が、実はとても難しい操作をして電車を動かしているのだということを体験的に学ぶことができます。

定員は20名で、所要時間は1回約25分、団体でご予約できるのは10:30開始の回です。

※体験は小学校1年生以上に限定させていただきます。小学校1～4年生は付添の方のご同席が必要です。

※21名以上でのご予約は、別途ご相談下さい。



昼食場所利用

■ご予約可能時刻

時間帯	時刻
1	11:00～11:40
2	12:00～12:40
3	12:50～13:30

※本館3F 新幹線ラウンジ(テーブル席・1テーブル6名掛け)と、1F 183ランチトレイン3号車(64席)・4号車(56席)のいずれか、空いている時間帯で予約をお承り致します。また、人数・状況により、183ランチトレイン1号車(52席)・2号車(64席)、1F 455ランチトレイン1号車(68席)・2号車(76席)、北館1F てっぱくホールをご用意することがございます。なお、場所とお時間のご指定は承っておりませんので、予めご了承ください。

※ご来館時刻や、他団体のご予約状況により、昼食場所を予約できない場合があります。

※昼食時間は、体験時間と重ならない時間枠のご用意となります。

(例：ジオラマ 12:10 の回を体験の場合、昼食利用は時間帯 1 または 3 の回がご利用可能です。)

学校利用タイムスケジュール例

■半日ご利用例 4クラス(約160名)ご利用の場合

時刻	内容
10:00	ご入館
10:20	ジオラマスペース入室完了
10:30～10:40	鉄道ジオラマ 解説つきプログラム鑑賞
11:00～11:40	昼食 お弁当スペースのご利用 (昼食第1グループ) ※お弁当はご持参ください
12:00～12:40	昼食 お弁当スペースのご利用 (昼食第2グループ)
13:40	ご退館 ※プロムナードでの写真撮影は、帰りの時間帯をご利用ください。

※鉄道ジオラマ解説つきプログラムは 10:30～、12:10～、14:00～、16:00～の回のご予約を承ります。

※鉄道ジオラマ・運転士体験教室ご希望の場合の昼食時間は、体験時間と重ならない時間枠のご用意となります。

※ご予約内容は、ご来館時刻や人数、他団体のご予約状況により、ご希望に沿えない場合があります。

また、予約回のご希望・ご指定はいただけませんので、あらかじめご了承ください。

※予約利用以外の時間は、館内をご自由にご観覧ください。

■ 1日ご利用例 ラーニングプログラム実施 6クラス（約200名）ご利用の場合

時刻	内容
10:00	ご入館
10:50~11:10	ラーニングプログラム（1組）
11:00~11:40	昼食 お弁当スペースのご利用（5・6組）
11:10~11:30	ラーニングプログラム（2組）
11:30~11:50	ラーニングプログラム（3組）
11:50~12:10	ラーニングプログラム（4組）
12:00~12:40	昼食 お弁当スペースのご利用（1・2組）
12:00	ジオラマ室前に集合（3・5・6組）
12:10~12:20	鉄道ジオラマ 解説つきプログラム鑑賞（3・5・6組）
12:50~13:30	昼食 お弁当スペースのご利用（3・4組）
13:40~14:00	ラーニングプログラム（5組）
13:50	ジオラマスペース入室完了（1・2・4組）
14:00~14:10	鉄道ジオラマ 解説つきプログラム鑑賞（1・2・4組）
14:00~14:20	ラーニングプログラム（6組）
14:30	ご退館 ※プロムナードでの写真撮影は、帰りの時間帯をご利用ください。

※昼食時間は、体験時間と重ならない時間帯のご用意となります。

※ご予約内容は、ご来館時刻や人数、他団体のご予約状況により、ご希望に沿えない場合があります。

また、予約回のご希望・ご指定はいただけませんので、あらかじめご了承ください。

※予約利用以外の時間は、館内をご自由にご観覧ください。

【参考：1日ご利用例（6クラス）のスケジュール表】

	1組	2組	3組	4組	5組	6組
10時台						
	ラーニングプログラム					
11時台		ラーニングプログラム			昼食	
			ラーニングプログラム			
				ラーニングプログラム		
12時台	昼食		ジオラマ		ジオラマ	
13時台			昼食			
					ラーニングプログラム	
14時台	ジオラマ			ジオラマ		ラーニングプログラム

申込のご案内

団体予約について

- 有料でご入館のお客さまが 20 名以上の場合、入館料が割引となります（4 ページ参照）。ご来館時に、鉄道博物館 エントランスカウンターにお申し出ください。
- 学校団体（保育園、幼稚園、小・中・高校、大学、各種専門学校）が、学校教育の一環として当館をご利用いただく場合は、有料入館者が 20 名に満たなくても団体料金を適用いたします。
- 団体を引率される旅行会社添乗員及び旅行会社に所属されているガイドの方、バス運転士、学習利用の学校団体を引率される教職員の入館料金は無料です。

（１）ご予約の可能な項目（いずれも、ご来館時刻や混雑状況により、ご希望に沿えない場合がございます。）

① バス駐車場（大型車駐車場）

団体人数（20 名）未満のお客さまでも、バス駐車場のみの予約は可能です。

バス駐車場は事前予約制となります。

② お弁当スペースの利用

③ 鉄道ジオラマ（解説つきプログラム）観覧の座席確保

所要時間 10～15 分程度、最大 200 名。

他の団体・一般のお客さまと一緒に観覧いただく場合があります。

④ 運転士体験教室

25 分間の体験プログラムで、定員は 20 名。

10：30 開始の回をご予約いただけます。

体験は小学校 1 年生以上に限定させていただきます。小学校 1～4 年生は付添の方のご同席が必要です。

21 名以上でのご予約は、別途ご相談下さい。

⑤ ラーニングプログラムの体験

1 回の所要時間約 20 分、40 名以下のグループに分かれて体験。

ご予約いただけるのは学校教育利用の小学校団体で、1 団体 1 プログラムのみに限らせていただきます。

土日祝日および学校の長期休み期間中は、ご予約を承っておりません。

（２）ご予約方法

【STEP 1】

ご予約は、「鉄道博物館 団体利用予約申込書」Excel 版（以下「申込書」）に必要事項をご記入の上、メールに添付して、次ページのお申込み受付専用メールアドレス宛に送信してください。複数日をご予約される場合は、1 日 1 ファイルずつの申込書が必要です。なお、お電話によるお申し込みは承っておりませんので、ご了承ください。

★ラーニングプログラムのご予約は、ご利用日の前月 10 日までとさせていただきます。

※雨天時のみ来館の予約受付は行っておりません。当館が、実質雨天時のみ来館予約と判断した際は、以降の予約を受け付けなくなる場合がございます。

【STEP 2】

申込書が鉄道博物館に届いた翌日から 5 営業日以内に「鉄道博物館 団体予約確定票」（以下「確定票」）をメールで返送します。

★ご希望に沿えない場合にもご連絡いたします。

★1 週間経過後、当館より連絡がない場合は、お問い合わせください。

【STEP 3】

予約内容の変更あるいは予約取消の場合は、変更内容を明記あるいは予約取消の旨を記載した確定票のPDFファイルまたはJEPGファイルをメールに添付して、お申込み受付専用メールアドレス宛に送信してください。

【STEP 4】

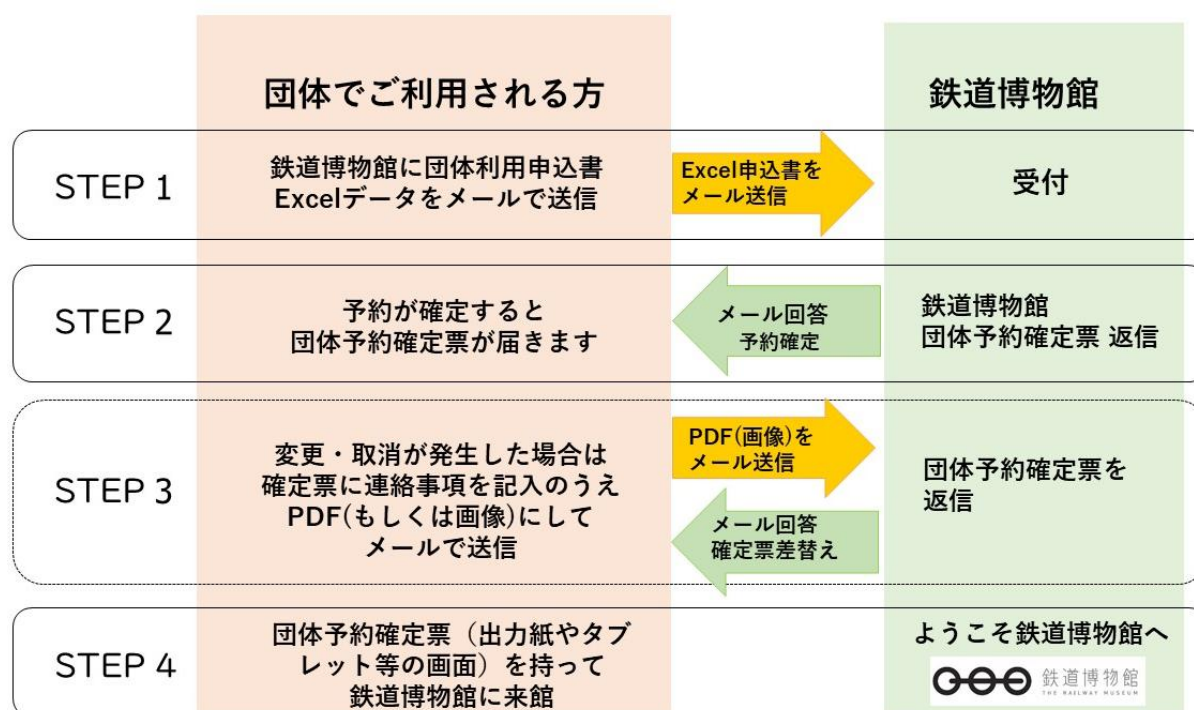
ご来館当日、鉄道博物館「団体予約確定票」を紙出力あるいはタブレットの画面表示などの方法で鉄道博物館エントランスカウンターにお持ちいただき、入館料をお支払いの上、ご入館ください。

(3) ご予約の変更、キャンセルについて

ご予約確定後に、ご予約内容に変更や取消が生じた場合、速やかに鉄道博物館にご連絡ください。

※ご連絡をいただけなかった場合、次回のご予約をご遠慮いただくことがあります。

【団体予約申込みの流れ】



✉ お申込み受付専用メールアドレス: t-group@ejrcf.or.jp

※申込書送受信限定のメールアドレスとなります。

ご質問・お問い合わせ等は、お電話にてお問い合わせください。

鉄道博物館ご利用Q & A

■ご予約について

- Q 1 : 保育園で来館しますが、引率の教職員や保護者の入館料はどうなりますか。
A 1 : (認可) 保育園・幼稚園については、園外学習など園行事の一環としてご来館の場合、ご引率職員の入館料は無料です。ご引率の保護者は、有料で「団体料金」を適用します。
- Q 2 : 高等専門学校生の入館料はどのようになりますか？
A 2 : 高等専門学校生は、「小中高生料金」を適用します。
- Q 3 : 学童保育ですが、引率者は入館無料になりますか？
A 3 : 学童保育は、学校団体でのお承りにはなりませんので、引率の方の入館料は有料です。
- Q 4 : 学童保育ですが、小学校団体向けラーニングプログラムの体験予約はできますか？
A 4 : ラーニングプログラムのご利用は原則として学校教育利用の小学校団体に限らせていただいております。学童保育によるご予約は承っておりません。

なお、当館では、小学校向けラーニングプログラムの他にも、館内でお楽しみいただける「鉄道博物館ワークシート」をホームページに各種掲載しております。ご利用の際は、お客さまご自身で事前にダウンロード・印刷のうえ、ご持参ください。
引率者さま用の「解説版」は、本館1階インフォメーションにご用意しております。

- Q 5 : 市役所主催の視察旅行で来館しますが、市の職員が添乗員となる場合に、添乗員は入館無料となりますか？
A 5 : 旅行会社の添乗員及びガイドの方は入館無料で、それ以外の添乗員の方の入館料は有料です。
- Q 6 : 障害者の団体ですが、団体料金と障害者割引の関係を教えてください。
A 6 : 団体料金が適用されます。但し、手帳等をお持ちの方は、団体料金より安価な障害者割引がご利用いただけます。エントランスカウンターにて、お支払いの前に（手帳等所持者の人数など）人数内訳を必ずお申し出ください。なお、障害者割引の入館料金と団体料金の重複割引はありません。

例) 障害者団体で、一般 25 人、そのうち 10 人が障害者手帳ご持参の場合の入館料
800 円×20 人(障害者割引料金) 1,200 円×5 人(団体料金) 合計 22,000 円

- Q 7 : ミニ運転列車や D51 シミュレータを団体予約したいのですが。
A 7 : 団体予約を受け付けておりますのは、次の 5 項目です。それ以外の施設・プログラムのご利用はいただけませんので、あらかじめご了承ください。
○バスの駐車場
○鉄道ジオラマ解説プログラム
○昼食場所
○小学校団体向けラーニングプログラム
○運転士体験教室

- Q 8 : 団体入館のみの予約をしたい場合はどうすればよいですか？
A 8 : 団体でご利用の際は「団体利用予約申込書」で事前予約をお願いいたします。

■施設利用について

- Q 1 : マイクロバスの駐車料金はいくらですか。
A 1 : バスの駐車料金は大きさに関わらず1台1日1回2,040円です。バス駐車場へはP2入口より進入してください。
- Q 2 : バス駐車場の予約ができなかったのですが、お客さまの乗降のみは可能ですか？
A 2 : 可能です。通常はバス駐車場（P2）で乗降いただいております。20分以内での乗降のみの駐車場ご利用の場合は、駐車料金はいただきません。ただし、お出迎えのためにバスを長時間駐車される場合は、この限りではありません。
- Q 3 : お弁当を食べる場所が満席で予約できませんでした。団体予約席以外の座席に荷物等を置いての場所取りは可能ですか？
A 3 : 食事場所は譲り合ってください。荷物等を置いての場所取りは他のお客さまとのトラブルの原因となりますので、ご遠慮ください。
- Q 4 : 幼稚園の団体ですが、床にレジャーシートを敷いてお弁当を食べてもよいですか？
A 4 : 館内のご飲食は当館が指定した場所に限定させていただいております。レジャーシートを使つての通路等でのお食事は、他のお客さまの通行の妨げとなる場合がありますので、ご遠慮ください。
- Q 5 : アルコール類の持ち込みはできますか？
A 5 : 館内へのアルコール類の持ち込みはご遠慮いただいております。館内のビューレストラン・トレインレストラン日本食堂にて、アルコール類を店内向けに販売しております。店外への持ち出しはできません。また、酩酊状態のお客さまはご入館をお断り、あるいはご退館いただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【お問い合わせ】

鉄道博物館 営業部 電話 048-651-0088(代表)

(2026年2月版)